



# WorkWithPlus for Audit 5

## (AuditPlus)

### インストールガイド

2022 年 12 月 改定



GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2021 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

<http://www.genexus.jp>

# 目次

はじめに .....	4
製品名の変更について .....	4
ご利用局面ごとの手順概要 .....	6
WorkWithPlus for Audit の新規利用 .....	7
システム要件の確認 .....	7
WorkWithPlus for Audit のインストール .....	7
新規ライセンス請求 .....	7
新規ライセンスの入力 .....	8
ライセンスの継続 .....	9
継続ライセンスの請求 .....	10
継続ライセンスの入力 .....	12
アプリケーションのアップグレード .....	13
システム要件の確認 .....	13
WorkWithPlus for Audit のアップグレード .....	13
マシン間のライセンスの移行 .....	14
トラブルシューティングとライセンスの再発行 .....	15
エビデンスの準備 .....	15
再発行ライセンスの請求 .....	15
再発行ライセンスの入力 .....	16
操作詳細 .....	17
WorkWithPlus for Audit のインストール/アップグレード/アンインストール .....	18
GeneXus へのインストール/アップグレード .....	18
GXserver へのインストール/アップグレード .....	21
アンインストール .....	24
WorkWithPlus.ProtectionServer のインストール .....	27
WorkWithPlus.ProtectionServer のインストール .....	27
ライセンス請求 .....	29
ライセンスの取り込み .....	32
ライセンスの移行手順 .....	35
ターゲットマシンで登録用ファイルを作成 .....	35
ソースマシンからライセンスの書き出し .....	37
ターゲットマシンでライセンスを読み込む .....	38
ライセンスのアンインストール .....	39

# はじめに

本書は、WorkWithPlus for Audit をご利用いただくためのガイドブックです。

## 製品名の変更について

AuditPlus は 2021 年 4 月にリリースされたバージョン 5 から製品名が「WorkWithPlus for Audit」に名称が変更されました。

バージョン 4 以下の場合、製品名は「WorkWithPlus」ですが、当資料では、WorkWithPlus for Audit Ver4 といったように変更後の製品名で記述します。

製品名が変更されたことにより、「WorkWithPlus for Audit」をインストールした GeneXus のライセンスマネージャー上で「AuditPlus」ライセンスは「WorkWithPlus for Audit」と表示されます。ライセンスの表示名が変わるだけなので、「AuditPlus」ライセンスと「WorkWithPlus for Audit」ライセンスは同一のライセンスです。つまり、すでに「AuditPlus」をご利用の方は「WorkWithPlus for Audit」を新規に利用するためのライセンスアップグレードは不要です。

プロテクションサーバーで「AuditPlus」ライセンスを管理していた方は、プロテクションサーバーがインストールされたマシンに「Dvelop.ProtectionServer」をインストールする必要がありました。「Dvelop.ProtectionServer」も製品名が「WorkWithPlus.ProtectionServer」と変更されました。WorkWithPlus.ProtectionServer\_1.6 以上をインストールすることで、プロテクションサーバーのライセンスマネージャーに「WorkWithPlus for Audit」ライセンスが表示されます。

## WorkWithPlus for Audit ライセンスの考え方

WorkWithPlus for Audit は、開発するアプリケーションに一度適用すればよく、開発途上でたびたび操作する性質のものではないというソフトウェア特性から、プロテクションサーバーに 1 ライセンスをおき、複数の開発プロジェクトで共有してご利用いただくという考え方をとっています。サーバー単位のライセンスですから、ロケーション、ネットワークセグメントの違いなどで、複数のプロテクションサーバーを立てる必要がある場合には、プロテクションサーバーの数だけライセンスをご購入ください。

開発者が WorkWithPlus for Audit 関連操作を行うと、ライセンスは 5 分間その開発者が占有します。他の開発者が WorkWithPlus for Audit 関連操作を行うには約 5 分間待つ必要があります。

WorkWithPlus for Audit を適用したアプリケーションの開発者は、WorkWithPlus for Audit 関連操作を行わない限り WorkWithPlus for Audit のライセンスは必要ありませんが、GeneXus に WorkWithPlus for Audit がインストールされている必要があります。

同様に、WorkWithPlus for Audit を適用したアプリケーションを管理する GeneXus Server にも、WorkWithPlus for Audit がインストールされている必要があります。インストールの手順は「[WorkWithPlus for Audit のインストール／アンインストール](#)」(P18)を参照してください。プロテクションサーバーを利用せず、1 台のローカルマシンだけで WorkWithPlus for Audit 関連操作を行うことも可能です。

## プロテクションサーバーご利用の前提条件

GeneXus がインストールされているマシンに WorkWithPlus for Audit をインストールすると、GeneXus のライセンスマネージャーに WorkWithPlus for Audit が表示されるようになりますが、ライセンス管理専用プロテクションサーバー<sup>1</sup>を立てている場合には、WorkWithPlus for Audit<sup>2</sup>のような Dvelop 社製品が初期表示されていません。その場合は、プロテクションサーバーに「WorkWithPlus.ProtectionServer」を追加でインストールする必要があります。手順は「[WorkWithPlus.ProtectionServer のインストール](#)」(P27)を参照してください。

---

<sup>1</sup> プロテクションサーバーは、GeneXus のライセンスマネージャーに、複数開発者によるライセンス利用の機能が追加されたアプリケーションで、弊社ホームページ（<https://www.genexus.jp/community-and-support-jp/downloads02>）からダウンロードして無料でご利用いただけます。サーバーマシンにインストールしていただくだけで、GeneXus 関連製品のライセンス管理が行えます。

<sup>2</sup> AuditPlus に限らず GeneXus 関連製品のライセンスの転売は禁止されています。他社への変更／譲渡はできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

## ご利用局面ごとの手順概要

## WorkWithPlus for Audit の新規利用

このセクションでは、WorkWithPlus for Audit を新規にご利用される場合の手順について説明します。

### システム要件の確認

WorkWithPlus for Audit 5 は、GeenXus X EV2、EV3、GeneXus15、16、17 でご利用いただけます。

※2021 年 4 月現在、サポートされている GeneXus は GeneXus16 と 17 です。

### WorkWithPlus for Audit のインストール

WorkWithPlus for Audit を適用するアプリケーション開発者のマシンおよび GeneXus Server に WorkWithPlus for Audit をインストールします。操作詳細「[WorkWithPlus for Audit のインストール／アンインストール](#)」(P18)にしたがってインストールしてください。

### 新規ライセンス請求

ライセンスは、製品ごとに個別に請求ファイルを作成して請求します。WorkWithPlus for Audit 以外の製品も同時に行う場合は、各製品のインストールガイドを参照して請求ファイルを作成してください。

**重要：**ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

#### ライセンス請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

**注意：**プロテクションサーバーを単独で立てている場合は、WorkWithPlus for Audit のライセンスが初期表示されません。その場合は操作詳細「[WorkWithPlus.ProtectionServer のインストール](#)」(P27)にしたがって WorkWithPlus.ProtectionServer をインストールしてください。

1. 操作詳細「[ライセンス請求](#)」(P29)にしたがって「.gxa」ファイルを作成します。
2. お使いのメールアプリケーションで新規メールを作成し、上記の手順で生成した「.gxa」ファイルを [keystmaster@genexus.jp](mailto:keystmaster@genexus.jp) に送信します。

**重要：** GeneXus パートナーから WorkWithPlus for Audit を購入されたお客様の場合、「.gxa」ファイルをパートナー宛に送信し、パートナーからライセンスキーを受領してください。

## 新規ライセンスの入力

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にする方法については、操作詳細「[ライセンスの入力](#)」(P32)を参照してください。



## ライセンスの継続

このセクションでは、WorkWithPlus for Audit のライセンスを継続する際の手順を説明します。

※以下の画像では SDP を「WorkWithPlus for Audit」と置き換えてお読みください。

WorkWithPlus for Audit では、ライセンスの終了日が変更される場合には、下図のようにこれまで使用していたライセンスをアンインストールしてから新しいライセンスを取り込む必要があります。また、緊急ライセンスを使用している場合も同様に、新しく発行された正規ライセンスを取り込む直前に緊急ライセンスをアンインストールする必要があります。

### 前提条件：ライセンスの終了日に変更がある

#### ケース 1



#### ケース 2



## 継続ライセンスの請求

**重要：**ライセンスの発行は DVelop 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。

ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

### ライセンス請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

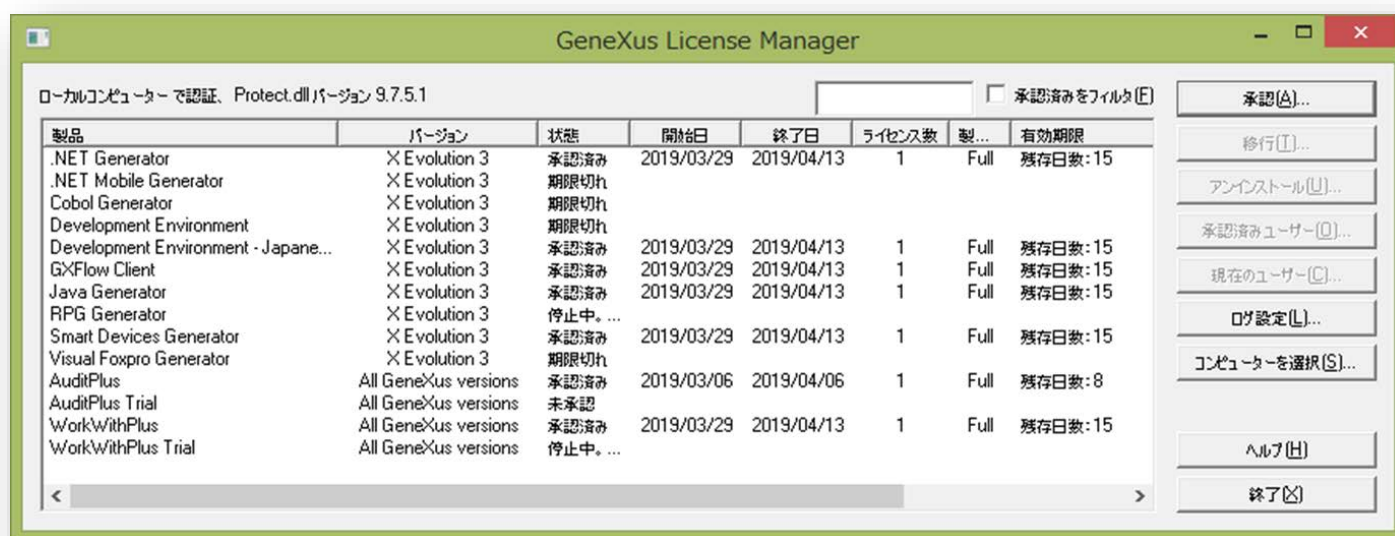
**重要：**ライセンスを請求するときと、ライセンスキーを入力するときの「状態」は同じである必要があります。有効日数が残っている「承認済み」の状態ではライセンスキー取り込めるように、余裕をもって有効日数が5営業日以上ある時点で請求を行ってください。

やむを得ず有効日数が「1日」になってしまった場合は、ライセンス入力時点で「状態」が「期限切れ」に変わってしまえばライセンスキーが取り込めなくなってしまうので、その場合は、ライセンスをアンインストールしてからライセンス請求してください。

アンインストールの手順は、操作詳細「ライセンスのアンインストール」にしたがってください。

次の手順にしたがって、継続ライセンスを請求します。

1. 「GeneXus Protection Server/License Manager」の起動時の画面のスクリーンショットを撮り、保存します。  
スクリーンショットには「製品」、「バージョン」、「状態」、「開始日」、「終了日」、「ライセンス数」、および「有効期限」の「残存日数」の内容が表示されている必要があります。



2. 操作詳細「[ライセンス請求](#)」(P29)にしたがって「.gxa」ファイルを作成します。
3. メールアプリケーションで新規メールを作成し、以下のファイルと情報を GeneXus パートナーまたは [keystmaster@genexus.jp](mailto:keystmaster@genexus.jp) に送信します。
  - 「GeneXus License Manager」の起動画面のスクリーンショット
  - 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル
  - 手順2で作成した「.gxa」ファイル
  - 注文書に記載されているライセンス番号

以上で継続ライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、上記のメールを送信したメールアドレスに送信されます。

## 継続ライセンスの入力

請求した継続のライセンスキーをマシンに取り込んで有効にする方法を説明します。

**注意：**2022年12月7日より継続ライセンスの取り込み方法が変更されました。

2022年12月6日より前に発行された継続ライセンスは取り込む前に古いライセンスをアンインストールする必要がありましたが、現在、古いライセンスのアンインストールは不要です。

追加ライセンスの取り込みも古いライセンスのアンインストールは不要です。

請求した継続ライセンスキーをマシンに取り込みます。ライセンスの取り込みについては、操作詳細「[ライセンスの入力](#)」(P32)を参照してください。

**重要：**ライセンスの発行は、DVelop社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行ってください。

### ライセンス請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。



## アプリケーションのアップグレード

このセクションでは、既にインストールされている WorkWithPlus for Audit を最新版にアップグレードする方法について説明します。

### システム要件の確認

関連するアプリケーションのバージョン情報を確認します。

### WorkWithPlus for Audit のアップグレード

1. 操作詳細「[WorkWithPlus for Audit のインストール／アンインストール](#)」（P18）にしたがってアップグレードを行います。

## マシン間のライセンスの移行

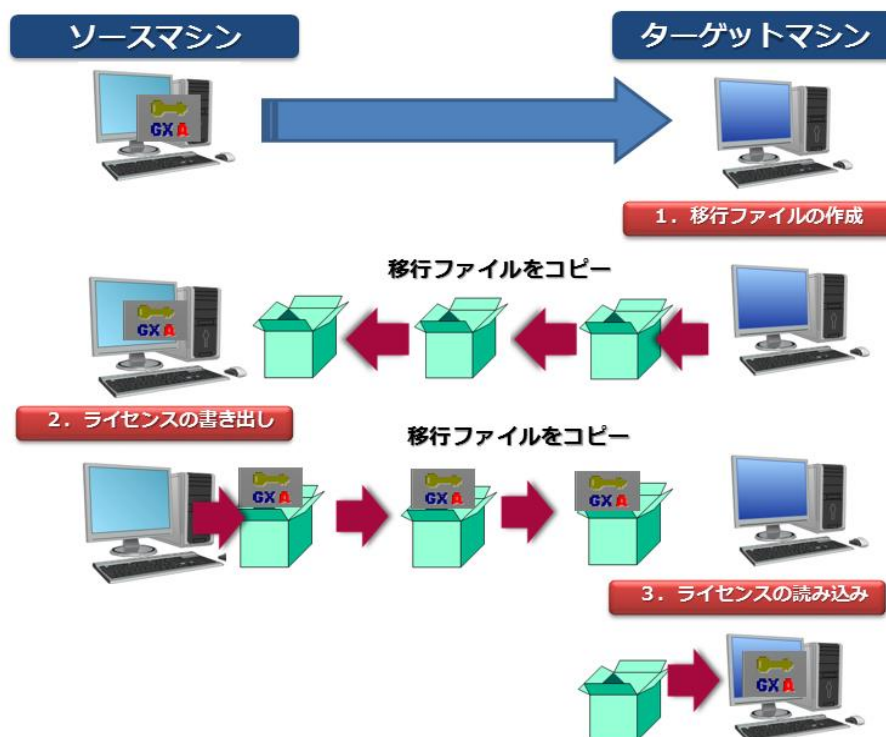
このセクションでは、WorkWithPlus for Audit のライセンスを、別のマシンに移行する方法について説明します。

概要は以下のとおりです。

現在 WorkWithPlus for Audit ライセンスが入っているマシンを「**ソースマシン**」と呼び、ライセンスの移行先のマシンを「**ターゲットマシン**」と呼びます。

1. ターゲットマシンでライセンスファイル登録用ファイル「**移行ファイル**」を作成してソースマシンにコピーします。
2. ソースマシンで、「**移行ファイル**」にライセンスを書きだしてターゲットマシンにコピーします。
3. ターゲットマシンでライセンスを読み込みます。

具体的な操作方法は操作詳細「[ライセンスの移行手順](#)」(P35) にしたがって行ってください。



## トラブルシューティングとライセンスの再発行

このセクションでは、何らかの理由でライセンスが停止中となったり、WorkWithPlus for Audit をインストールしているマシンが故障したりして、WorkWithPlus for Audit が使用できなくなった場合、ライセンスを再発行する手順について説明します。

### エビデンスの準備

- A) 「GeneXus Protection Server/License Manager」の起動画面のスクリーンショット
- B) 「Windows」フォルダにある「GxProt.log」ファイル

※マシンの故障等でエビデンスを作成できない場合は、「ライセンス再発行依頼書」の提出後にライセンスの再請求を行っていただきます。

1. 弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求
2. 必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社まで郵送してください。
3. 再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、新しいマシンから操作詳細「[ライセンス請求](#)」(P29)にしたがって、ライセンスの請求手続きを行ってください。

### 再発行ライセンスの請求

#### ライセンス再請求受付時間

土日祝日・月末日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンスの再発行は、お客様の業務の状況に応じて、以下の2つの方法から選択してください。

- A) ライセンスの再請求を行う。

「ライセンスの再請求」では、最短でもライセンスキーの受け取りが翌日になってしまいます。

- B) 緊急ライセンスを請求する

「緊急ライセンス」は、ライセンス再請求を行った当日ライセンスキーを受け取ることができますが、有効期間が15日間なので、15日以内に、もう一度ライセンスの再申請を行う必要があります。

1. 操作詳細「[ライセンス請求](#)」(P29)にしたがって、「.gxa」ファイルを作成します。
2. GeneXus をお買い求めの GeneXus パートナーまたは弊社([keysmaster@genexus.jp](mailto:keysmaster@genexus.jp))まで、以下のメールでご依頼ください。

➤ **送信するメールの件名：** WorkWithPlus for Audit ライセンス再発行依頼／WorkWithPlus for Audit 緊急  
ライセンス発行依頼

**注意：** 選択するほうを残し、選択しない方を削除して送ってください。

➤ **メールの本文：**

- 弊社より送付済みのライセンス証書に記載のライセンス番号（6桁の数字）
- 貴社名
- ご担当者名
- お電話番号
- 再発行理由

**参考：** ライセンスが停止中になる主な原因

＜禁止事項の実施＞

- ・ GeneXus および WorkWithPlus for Audit がインストールされている端末のシステム日付の変更
- ・ レジストリー情報の修正を行う。

＜不可避事項＞

- ・ OS のアップデートによるシステムの変更
- ・ OS の不具合
- ・ GeneXus Protection Server／License Manager のバグ

## 再発行ライセンスの入力

請求したライセンスキーをマシンに取り込んで、有効にする方法については、操作詳細「[ライセンスの入力](#)」(P32)を参照してください。



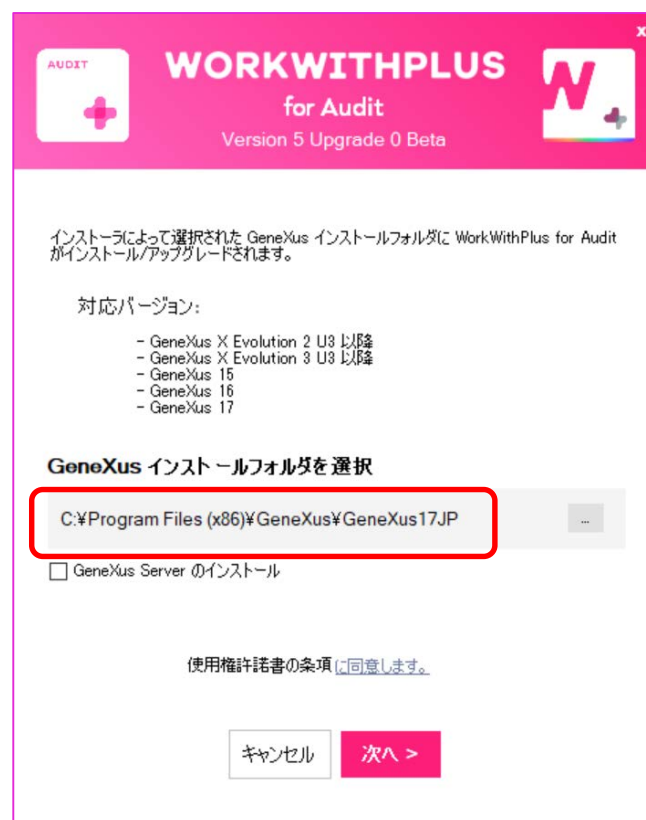
## 操作詳細

# WorkWithPlus for Audit のインストール/アップグレード/アンインストール

このセクションでは、WorkWithPlus for Audit のインストール/アップグレード/アンインストールについて説明します。

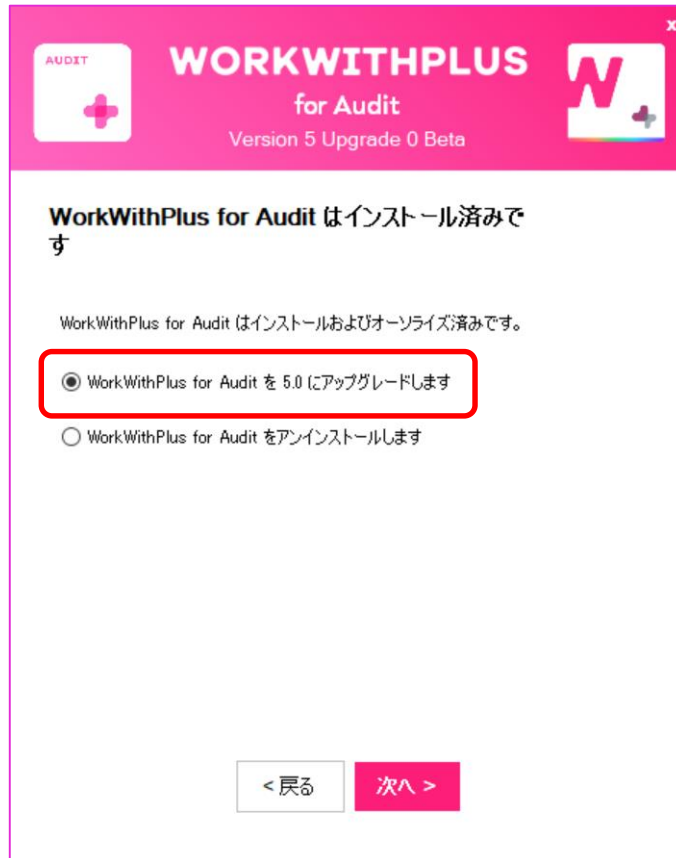
## GeneXus へのインストール/アップグレード

1. GeneXus Japan Web ページ (<https://www.genexus.jp/community-and-support-jp/downloads02>) から WorkWithPlus for Audit のアプリケーションをダウンロードします。
2. 「Audit\_v5.n.exe」を「管理者として実行」します。



3. GeneXus インストールフォルダ（例：C:\Program Files (x86)\GeneXus\GeneXus17JP）を入力して、「次へ」をクリックして、「次へ」をクリックします。

4. WorkWithPlus for Audit をアップグレードする場合は次の画面が表示されます。「WorkWithPlus for Audit5.n をアップグレードします」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



WORKWITHPLUS  
for Audit  
Version 5 Upgrade 0 Beta

WorkWithPlus for Audit はインストール済みです

WorkWithPlus for Audit はインストールおよびオーソライズ済みです。

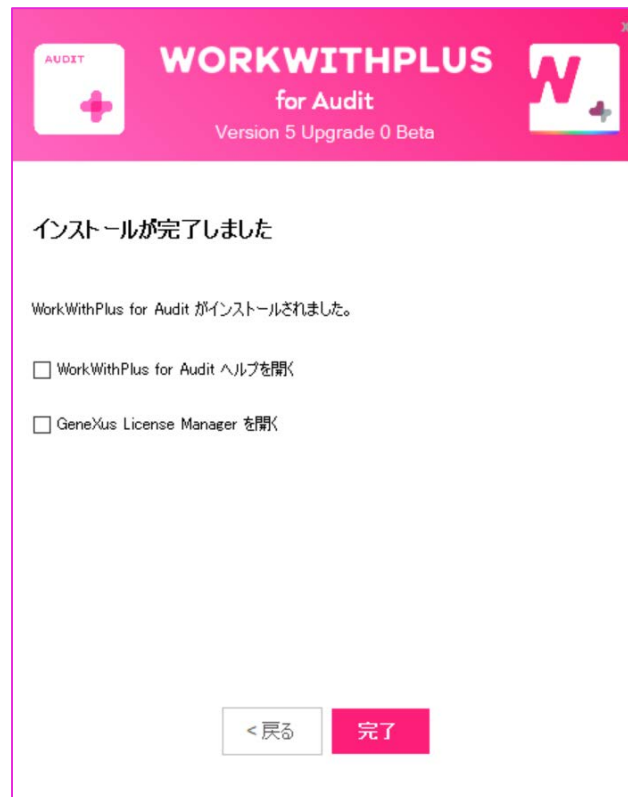
☒ WorkWithPlus for Audit を 5.0 にアップグレードします

☐ WorkWithPlus for Audit をアンインストールします

< 戻る    次へ >



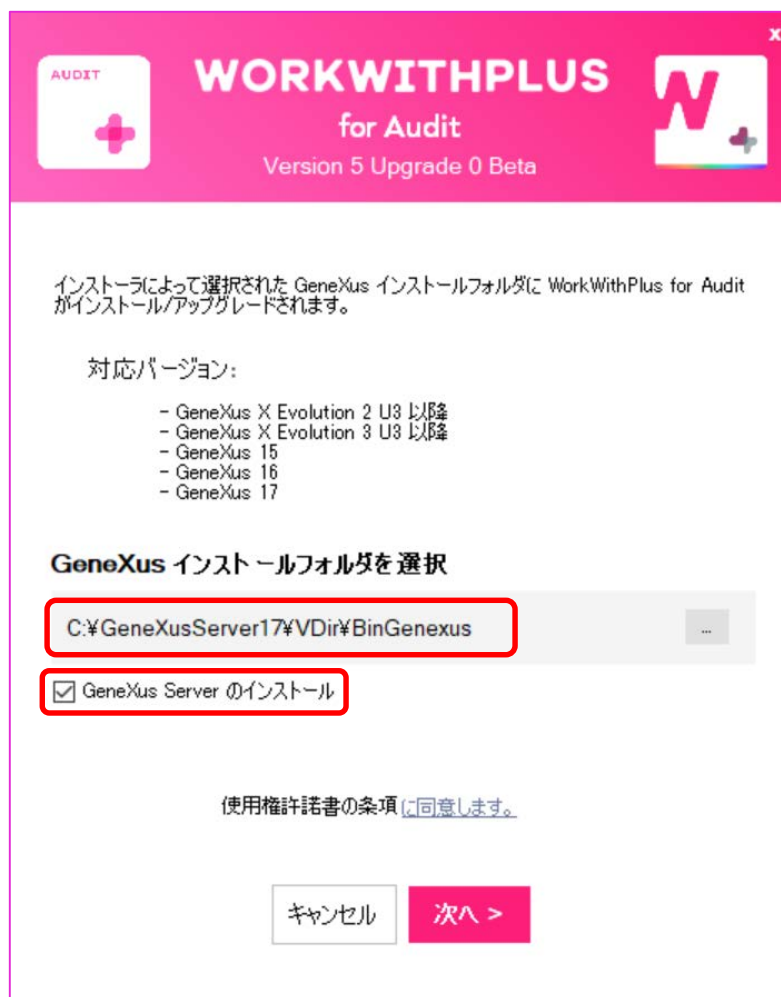
5. 次の画面が表示されればインストールは完了です。



6. GeneXus のツールバー→「WorkWithPlus」→「WorkWithPlus for Audit」→「WorkWithPlus for Audit について」をクリックすると WorkWithPlus for Audit のバージョンが表示されますので、正しくインストールされたか確認できます。

## GXserver へのインストール/アップグレード

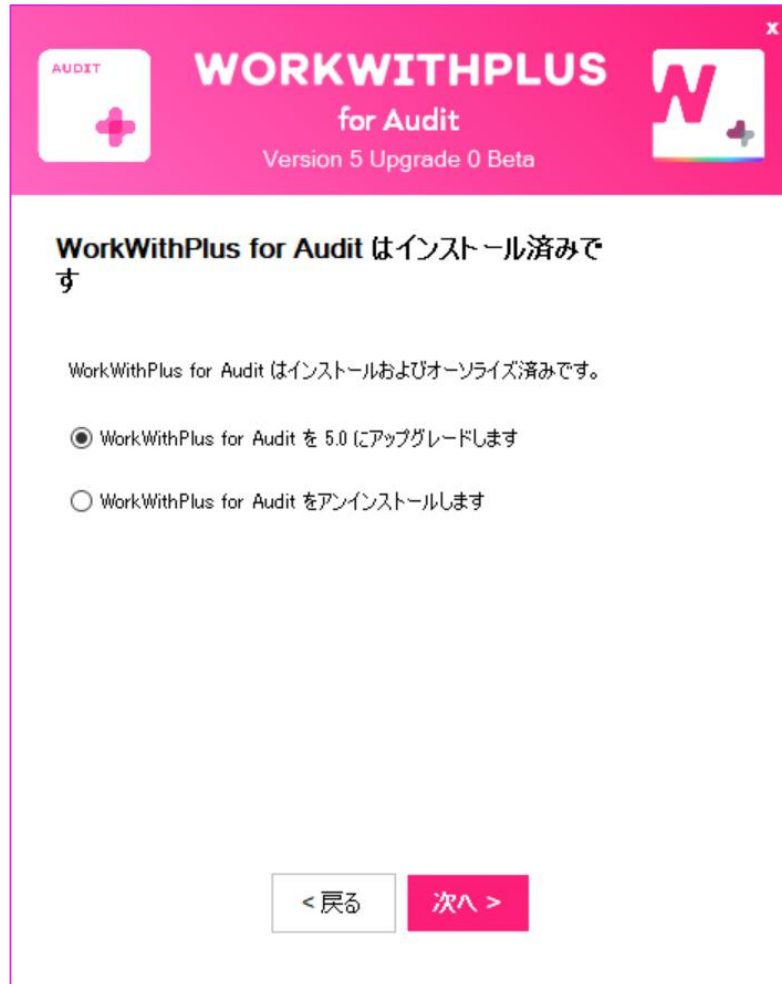
1. GeneXus Japan Web ページ (<https://www.genexus.jp/community-and-support-jp/downloads02>) から WorkWithPlus for Audit のアプリケーションをダウンロードします。
2. 「Audit\_v5.n.exe」を「管理者として実行」します。



3. 「GXserver インストールフォルダ¥VDir¥BinGenexus (例: C:¥GeneXusServer17¥VDir¥BinGenexus)」を入力して、「GeneXus Server のインストール」のチェックボックスにチェックを入れます。「次へ」をクリックします。

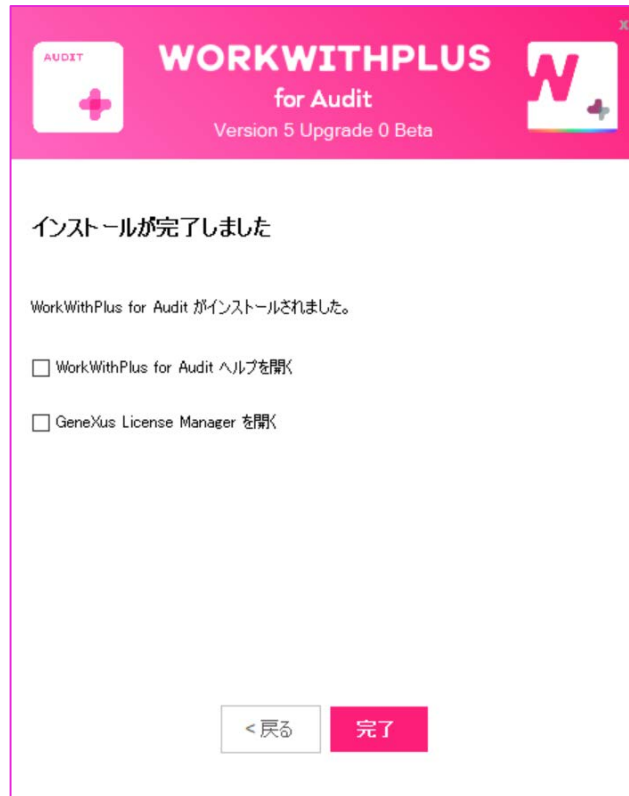


4. WorkWithPlus for Audit をアップグレードする場合は次の画面が表示されます。「WorkWithPlus for Audit5.n をアップグレードします」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。





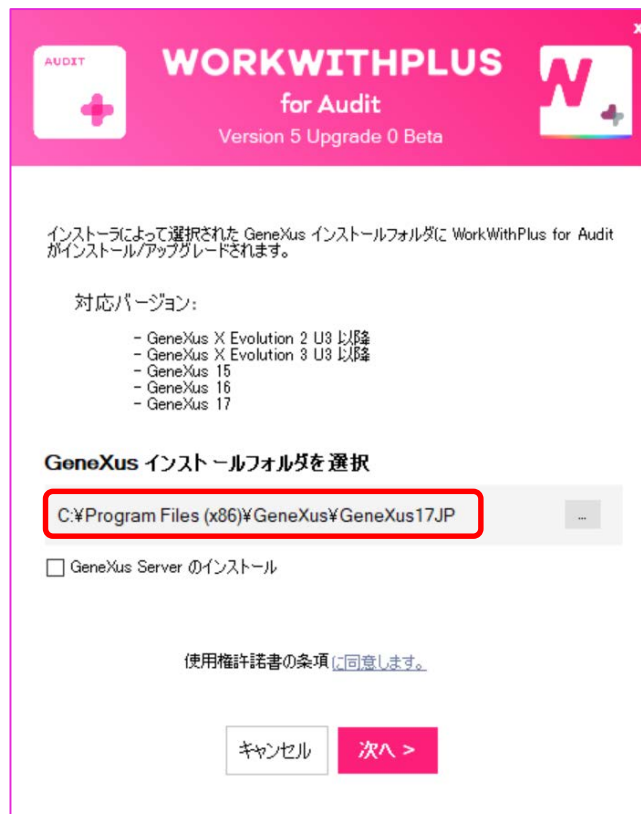
5. 次の画面が表示されれば完了です。



6. IIS にて GXserver のアプリケーションプールを再起動してください。再起動後、GXserver の Web コンソールのダッシュボードにて、「設定」→「エクステンション」で WorkWithPlus for Audit がインストールされているかを確認できます。

## アンインストール

1. 「Audit\_v5.n.exe」を「管理者として実行」します。

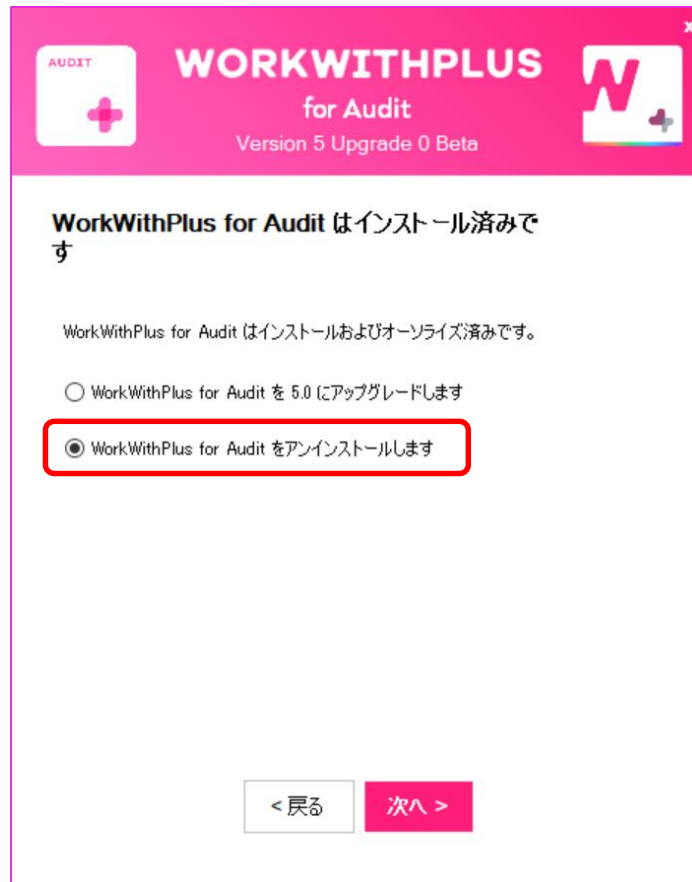


2. GeneXus からアンインストールする場合は GeneXus インストールフォルダ（例：C:\Program Files (x86)\GeneXus\GeneXus17JP）を入力して、「次へ」をクリックして、「次へ」をクリックします。

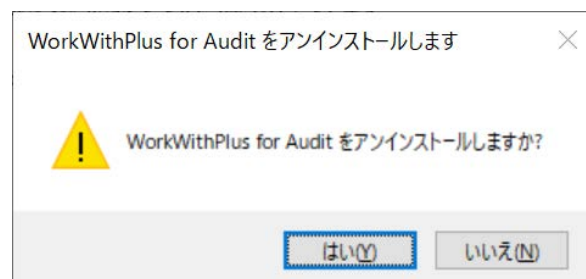
GXserver からアンインストールする場合は、「GXserver インストールフォルダ\VDir\BinGenexus（例：C:\GeneXusServer17\VDir\BinGenexus）」を入力し、「GeneXus Server のインストール」のチェックボックスにチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



3. 次の画面で「WorkWithPlus for Audit」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

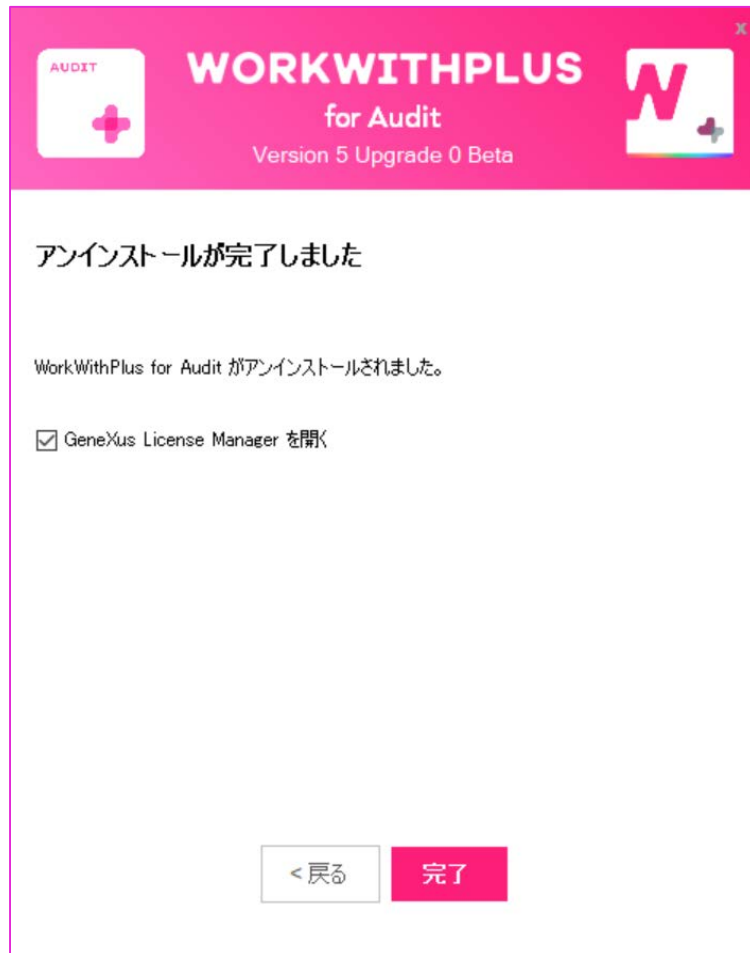


4. 次の画面で「はい」をクリックします。





5. 次の画面が表示されれば完了です。

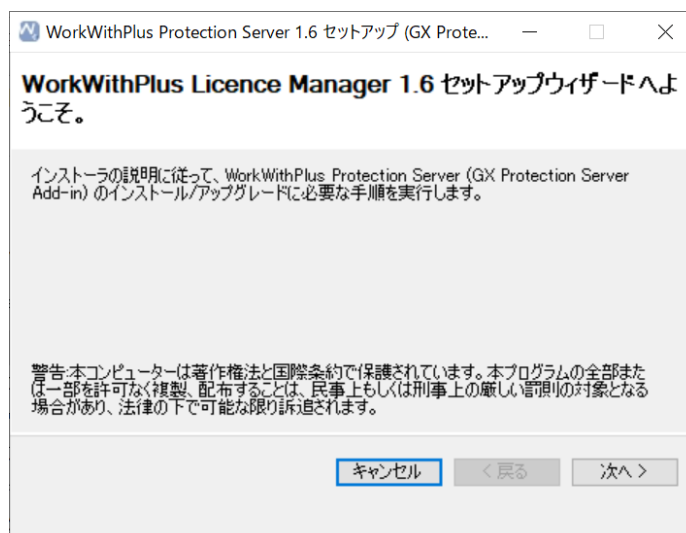


## WorkWithPlus.ProtectionServer のインストール

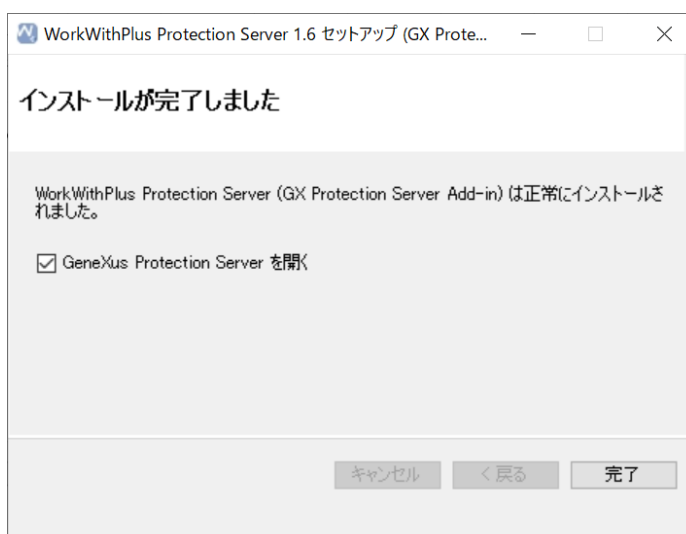
### WorkWithPlus.ProtectionServer のインストール

Protection Server をお使いの場合、次の手順に従って Protection Server がインストールされているコンピューターまたはサーバーに「WorkWithPlus.ProtectionServer.exe」をインストールする必要があります。

1. Protection Server がインストールされているマシンに「WorkWithPlus.ProtectionServer.exe」をコピーします。
2. 「WorkWithPlus.ProtectionServer.exe」をダブルクリックします。次のような画面が表示されます。

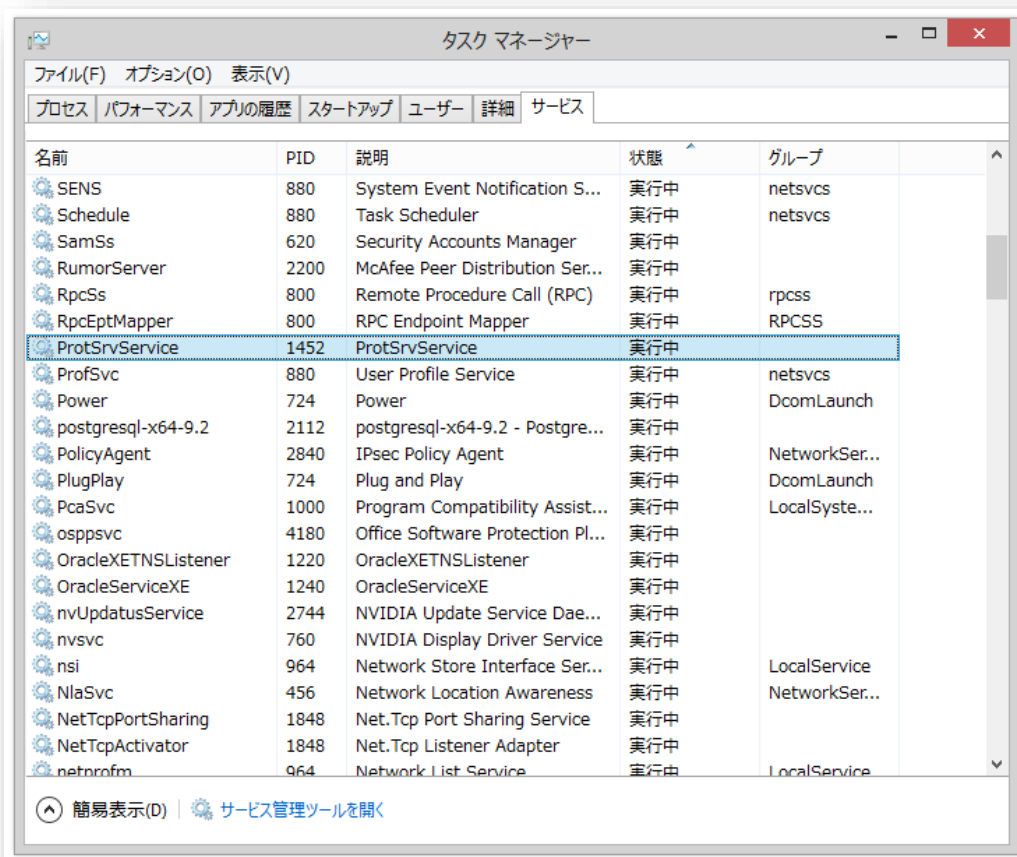


3. 「次へ」をクリックします。次のようなインストール完了画面が表示されます。

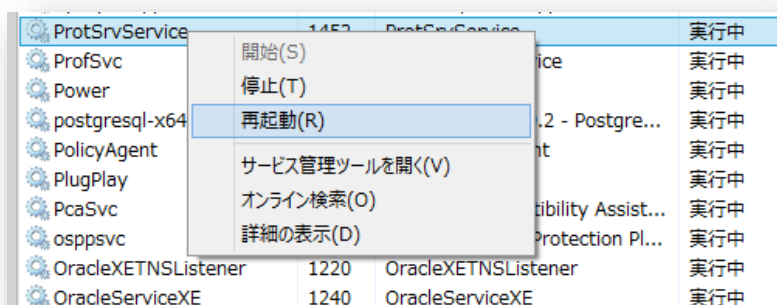


4. 「完了」をクリックすると、GeneXus Protection Server が起動します。

5. この段階では、GeneXus Protection Server の「製品」に WorkWithPlus for Native Mobile がリストされていないため、GeneXus Protection Server を終了します。「タスクマネージャー」を起動し、「サービス」タブをクリックします。次のような画面が表示されます。



6. 「ProtSrvService」を右クリックし、コンテキストメニューから「再起動」をクリックします。



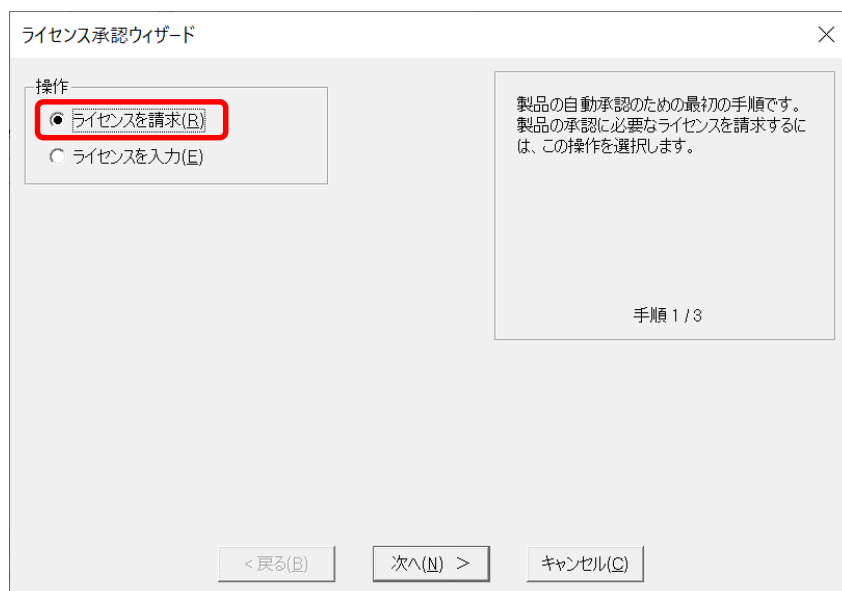
7. GeneXus Protection Server の「製品」に「WorkWithPlus for Native Mobile」がリストされていることを確認します。

## ライセンス請求

1. eneXus 17 Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus 17 License Manager」アプリケーション、または GeneXus Protection Server Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus License Manager」を「管理者として実行」すると、次のような画面が表示されます。

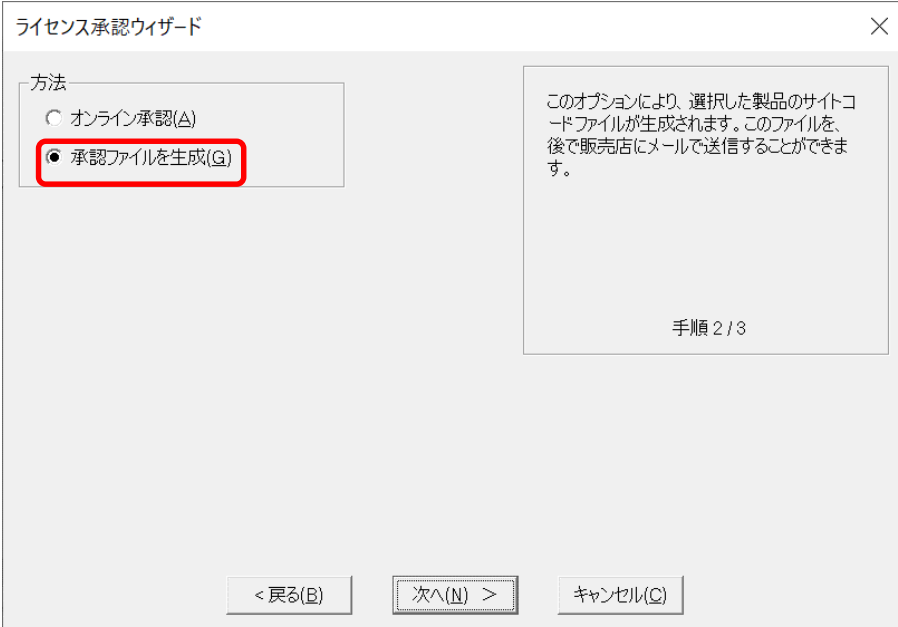


2. 「承認」ボタンをクリックします。ライセンスの請求または入力オプションが表示されます。
3. 「ライセンスを請求」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。



4. 「承認ファイルを生成」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。

ライセンスを請求する製品の選択画面が表示されます。



ライセンス承認ウィザード

方法

☐ オンライン承認(A)

☒ 承認ファイルを生成(G)

このオプションにより、選択した製品のサイトコードファイルが生成されます。このファイルを、後で販売店にメールで送信することができます。

手順 2 / 3

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル(C)

5. 「製品」リストから「WorkWithPlus for Audit」を選択してから、「終了」ボタンをクリックします。



ライセンス承認ウィザード

製品	バージョン
Development Environment	17
Development Environment - Jap...	17
Java Generator	17
.NET Generator	17
Native Mobile Generator	17
Chatbot Generator	17
GXflow	17
GXflow Corporate	17
GeneXus for SAP Systems Pack	17
RPG Generator	17
Cobol Generator	17
WorkWithPlus for Native Mobile	All Gen...
WorkWithPlus for Native Mobile T...	All Gen...
WorkWithPlus for Audit	All Gen...
WorkWithPlus for Audit Trial	All Gen...

左側のリストから承認ファイルを生成する製品を選択し、生成されたファイルの保存先のパスを入力します。次に「終了」をクリックします。  
例: 'C:\GxKeys' は 'C:\' に GxKeys.gxa という名前のファイルが生成されたことを示しています。

手順 3 / 3

承認ファイル(E)

C:\Users\Desktop\WWPforAudit.gxa    参照(W)...

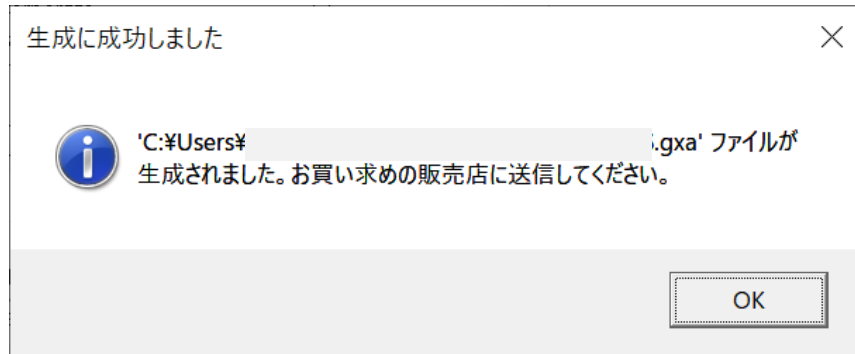
< 戻る(B)    終了(N)    キャンセル(C)

6. 「.gxa」という名前のファイルが生成されます。このファイルの保存先を変更する場合には、「参照」ボタンをクリックしてから、任意の場所を指定します。このときファイル名を次のように指定してください。

「WWPforAudit\_XXXX.gxa」：「XXXX」には注文書に記載されているライセンス番号を入力してください。

(レンタル・eラーニング・ライセンス評価の際は、ライセンス番号の記載は不要です。)

「.gxa」ファイルが生成されたことを示す、次のようなダイアログが表示されます。



7. 「OK」ボタンをクリックします。保存先を変更していない場合、GeneXus のプログラムと同じ場所に「.gxa」ファイルが保存されます。これで WorkWithPlus for Audit のライセンス請求は完了です。

## ライセンスの取り込み

ライセンス請求の後、発行されたライセンスキーは、送信したメールアドレスに送信されます。添付のファイルを開いて、ライセンスを請求したマシンに取り込むことでライセンスを有効化することができます。

ここでは、ライセンスファイルの取り込み手順を説明します。

**注意：** WorkWithPlus for Audit のライセンスの継続の場合には注意が必要です。ライセンスを利用できない期間が発生しないように、有効日数が残っている「承認済み」の「状態」でライセンス請求を行い、「承認済み」の「状態」でライセンスの取り込みをお願いしています。GeneXus の場合はそのままライセンス取り込みが可能ですが、WorkWithPlus for Audit の場合は、ライセンスの取り込み直前に、古いライセンスをアンインストールする必要があります。ライセンスのアンインストール方法については、後述の「[ライセンスのアンインストール](#)」(P39) を参照してください。

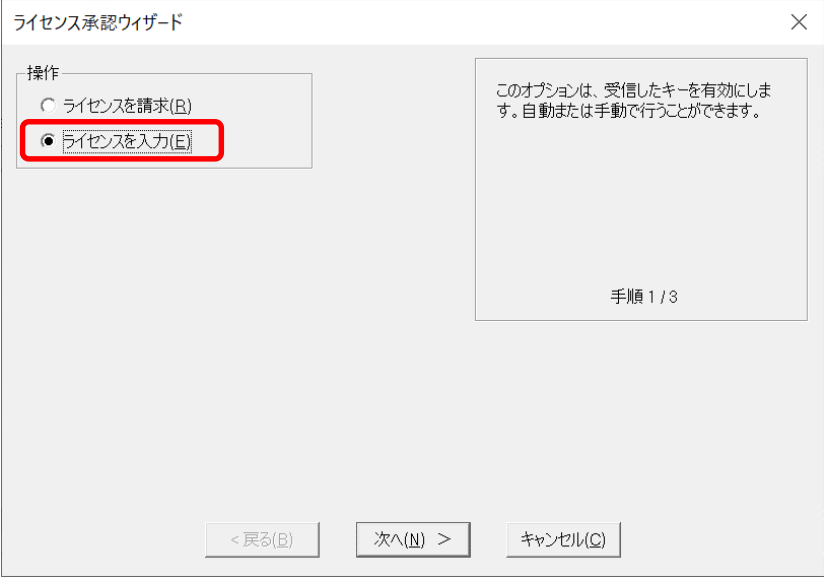
1. メールに添付されたライセンスファイル (.gxa ファイル) を、ライセンスを請求したマシンにコピーします。
2. GeneXus 17 Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus 17 License Manager」アプリケーション、または GeneXus Protection Server Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus License Manager」を「管理者として実行」すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。



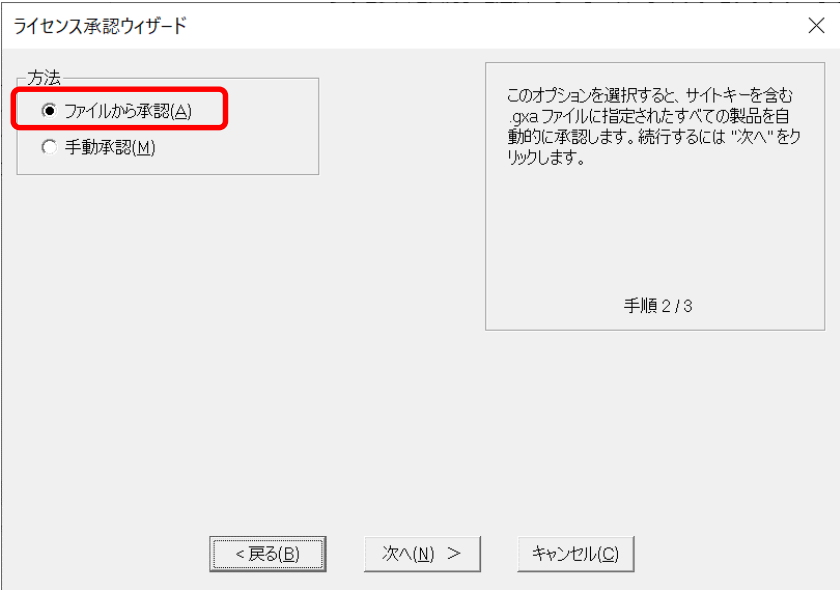
3. 「承認」ボタンをクリックします。



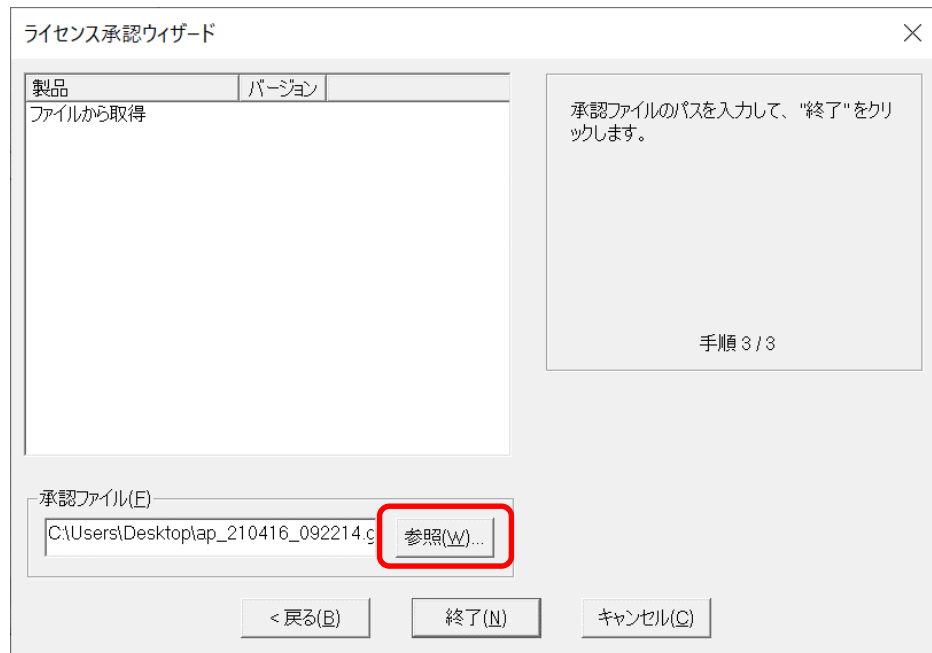
4. 「ライセンスを入力」を選択してから「次へ」ボタンをクリックします。



5. 「ファイルから承認」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



次のようなライセンスファイルの選択画面が表示されます。



6. 「参照」ボタンをクリックして、手順 1 でコピーしたファイルを選択し、「終了」ボタンをクリックします。  
これでライセンスの入力は完了です。

## ライセンスの移行手順

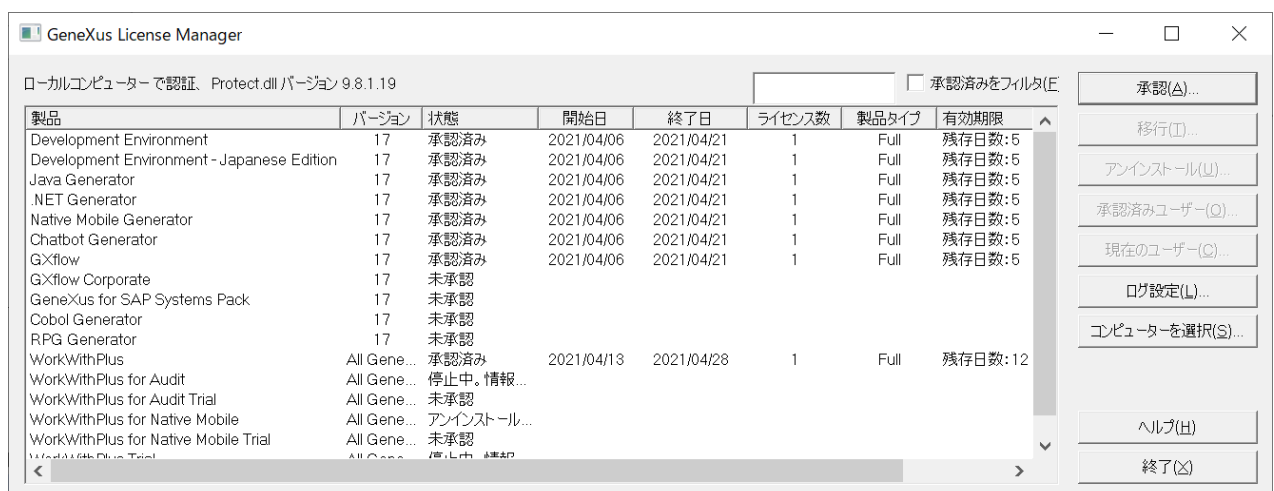
ここでは、WorkWithPlus for Audit のライセンスを別のマシンに移行する方法について説明します。この場合、はじめに、1. ライセンスの移行先のマシン（ターゲットマシン）でライセンス情報の登録用ファイルを作成（**移行ファイルの作成**）し、次に2. ライセンスがインストールされているマシン（ソースマシン）でライセンス情報を書き出し（**ライセンス書き出し**）、最後に3. ターゲットマシンでライセンスを読み込む（**ライセンス取り込み**）操作を実行する必要があります。

**重要：**ターゲットマシンで移行 (.trf) ファイルを作成後、ソースマシンでライセンスを取り込む前に再度移行ファイルを作成しようとすると、警告画面が表示されます。同じ製品区分に対して、「**移行ファイルの作成**」を複数回実行した場合、最後に作成したファイルが正になります。最後に作成された移行ファイル以外の移行ファイルを使って、ソースマシンで「**ライセンス書き出し**」処理が実行された場合、書き出されたライセンスは行き場を失い、消失してしまいます。誤ってライセンスを消失してしまった場合については、「[トラブルシューティングとライセンスの再発行](#)」(P15)を参照してください。

### ターゲットマシンで登録用ファイルを作成

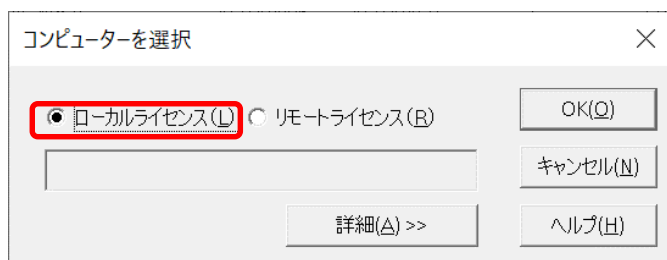
1. ターゲットマシンで GeneXus 17 Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus 17 License Manager」アプリケーション、または GeneXus Protection Server Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus License Manager」を「管理者として実行」すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。

この画面には、製品の種類（開発環境、各ジェネレーター）とライセンスの状態が表示されます。



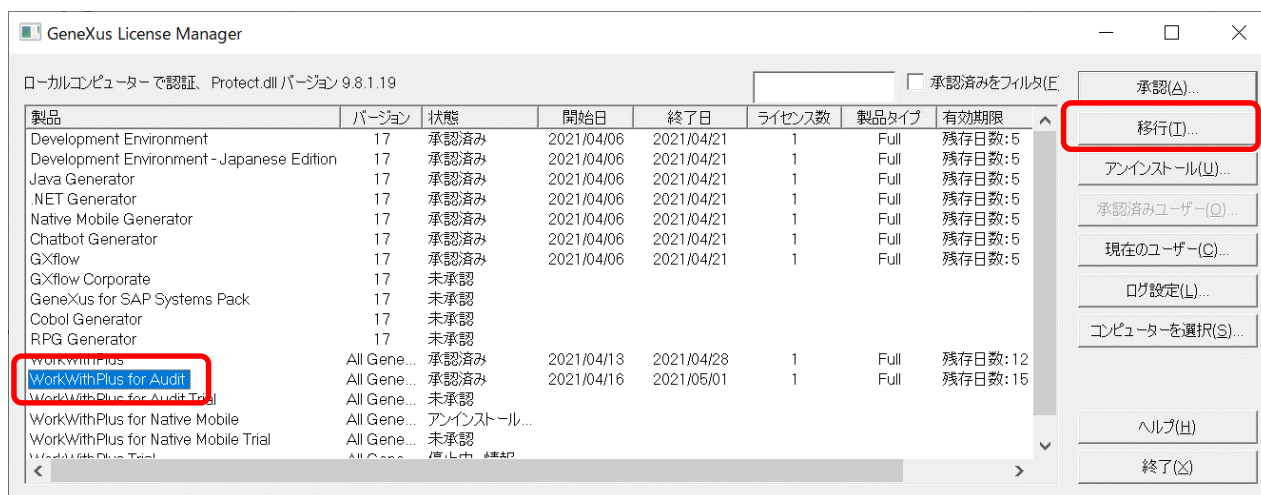
2. 「コンピューターを選択」をクリックします。「コンピューターを選択」ウィンドウが表示されます

3. 「ローカルライセンス」のオプションが選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



「GeneXus Protection Server/License Manager」の起動画面に戻ります。

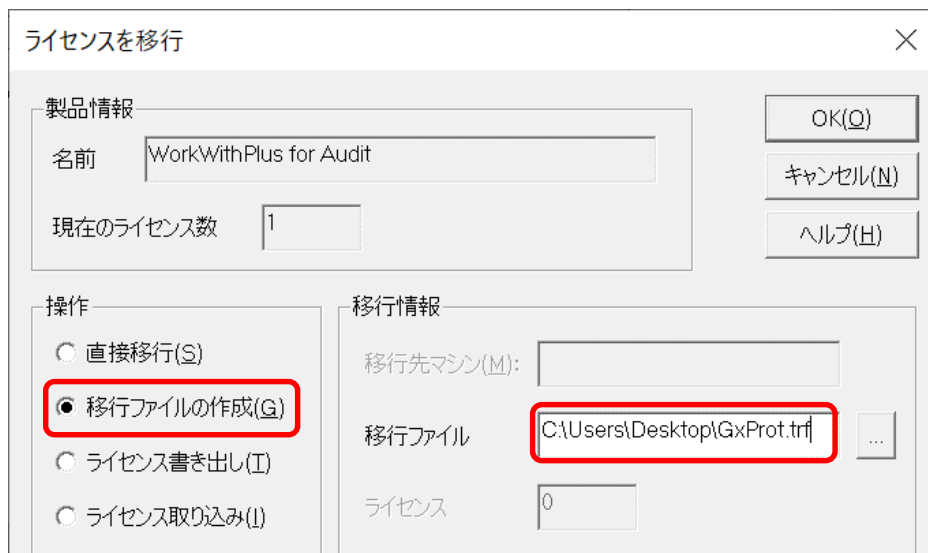
4. 「製品」から「WorkWithPlus for Audit」を選択し、「移行」ボタンをクリックします。



5. 「ライセンスを移行」画面が表示されたら、「操作」セクションの「移行ファイルの作成」を選択し、「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、移行ファイルの保存先を指定します。

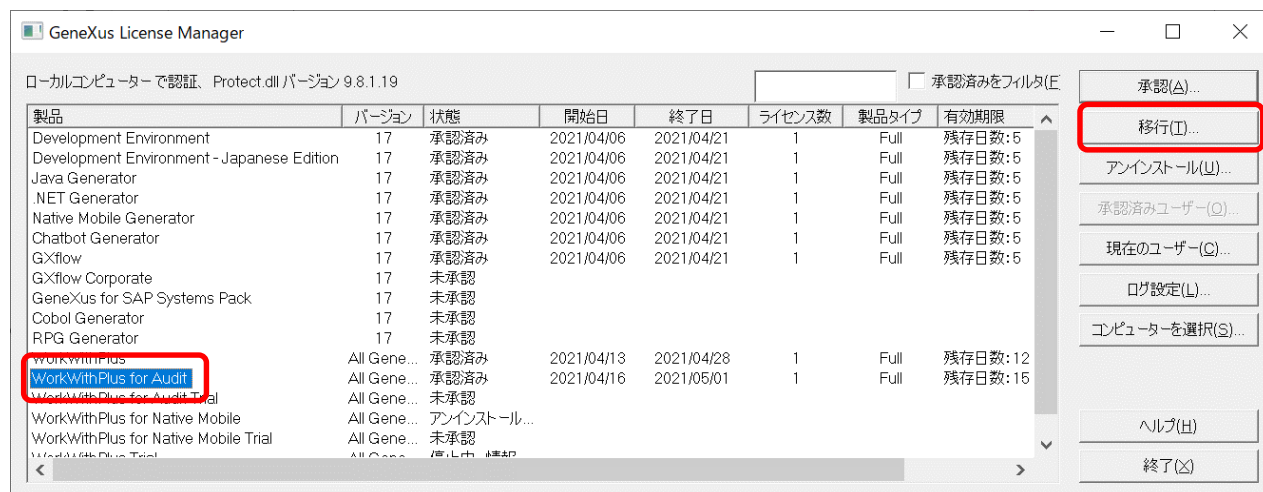
「OK」をクリックすると移行ファイルが作成されます。

参考: 「GxProt.trf」は既定の移行ファイル名です。「.trf」の拡張子を持つ、任意のファイル名に変更してください。

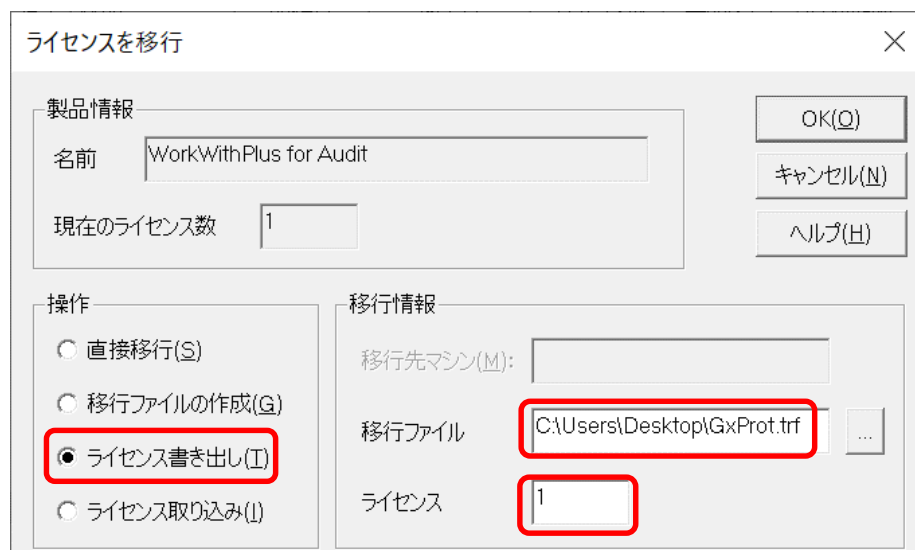


## ソースマシンからライセンスの書き出し

1. ソースマシンで GeneXus 17 Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus 17 License Manager」アプリケーション、または GeneXus Protection Server Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus License Manager」を「管理者として実行」すると、次のような画面が表示されます。

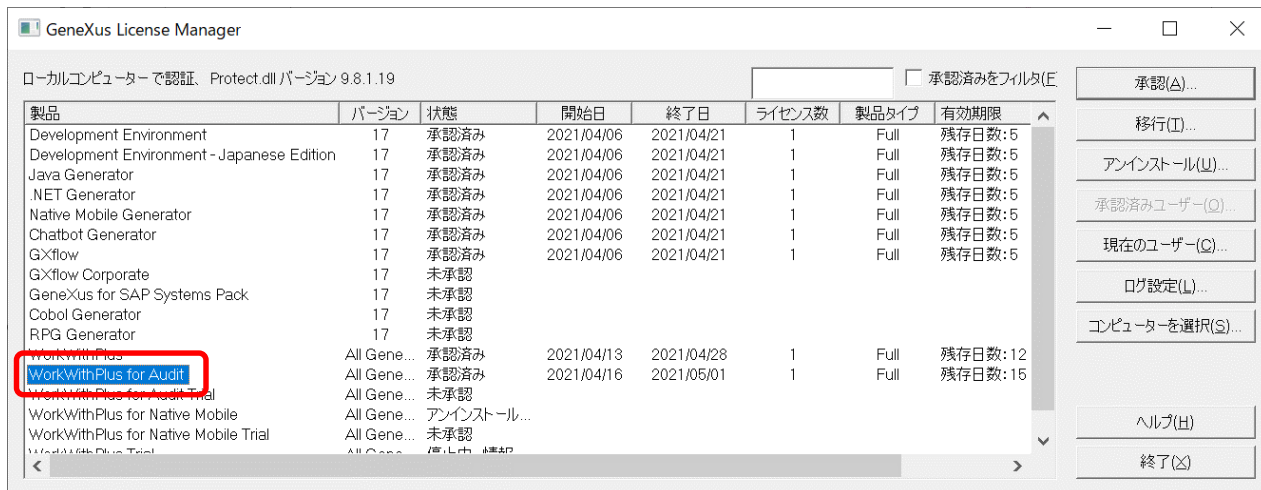


2. 「製品」から「WorkWithPlus for Audit」を選択し、「移行」ボタンをクリックします。
3. 「操作」セクションの「ライセンス書き出し」を選択し、「ライセンス」フィールドに必要な数を入力してから、「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、ターゲットマシンで作成した移行ファイルを選択します。  
「OK」をクリックするとライセンスの書き出しが行われます。  
この後ターゲットマシンに戻って操作を行います。

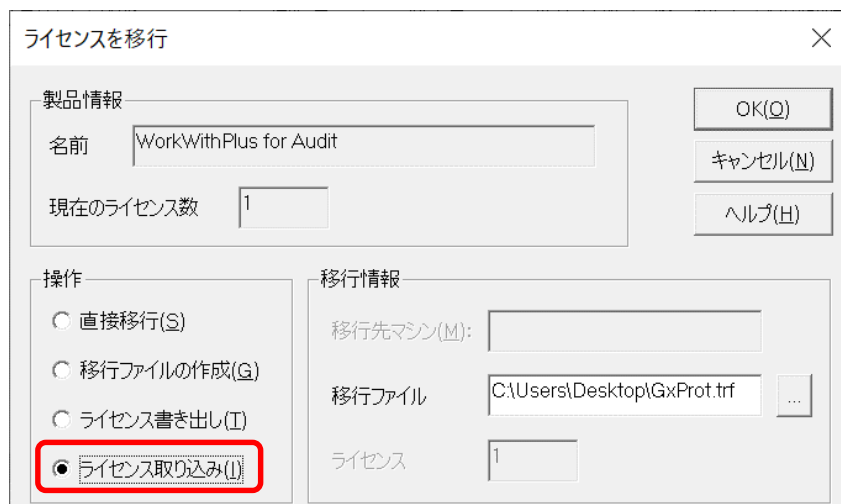


## ターゲットマシンでライセンスを読み込む

1. ターゲットマシンで GeneXus 17 Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus 17 License Manager」アプリケーション、または GeneXus Protection Server Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus License Manager」を「管理者として実行」すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。



2. 「製品」から「WorkWithPlus for Audit」を選択し、「移行」ボタンをクリックします。
3. 「操作」セクションの「ライセンス取り込み」を選択し、「移行ファイル」フィールドの右端にあるボタンをクリックし、ソースマシンでライセンスを書き出した移行ファイルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

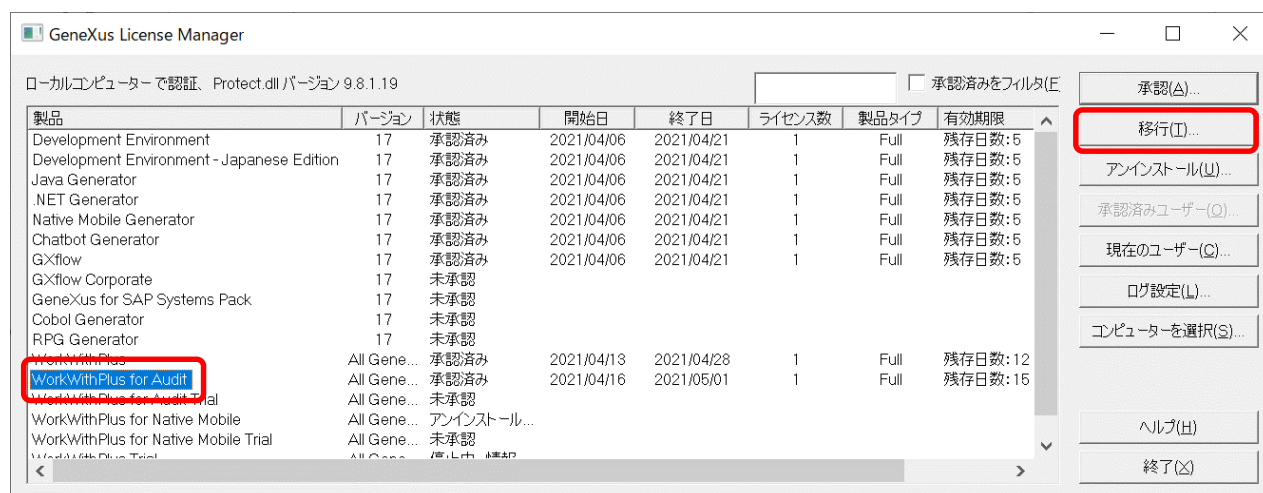


これでライセンスの移行は完了です。

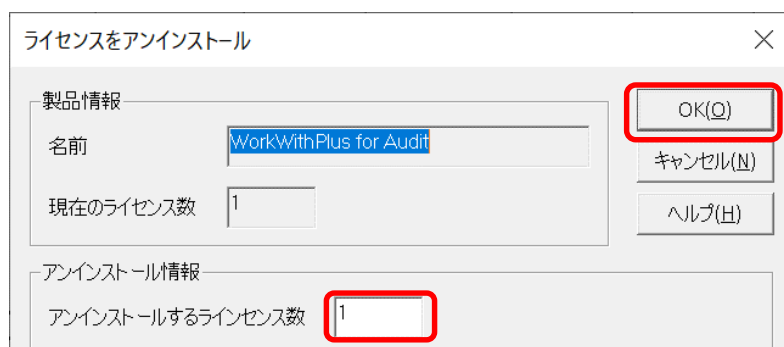
## ライセンスのアンインストール

ここではライセンスをアンインストールする方法について説明します。

1. GeneXus 17 Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus 17 License Manager」アプリケーション、または GeneXus Protection Server Japanese Edition のプログラムグループから「GeneXus License Manager」を「管理者として実行」すると、次のような画面が表示されます。この画面には、製品の種類とライセンスの状態が表示されます。



2. 製品から「WorkWithPlus for Audit」選択してから、「アンインストール」ボタンをクリックします。  
次のような「ライセンスをアンインストール」画面が表示されます。



3. 「ライセンスをアンインストールするライセンス数」フィールドにアンインストールするライセンス数を入力してから「OK」をクリックします。

4. 下図赤枠にアンインストールファイルの生成場所が表示されます。また、下図のようにエラーが表示されることがありますが、これは無視してください。これでライセンスのアンインストールは完了です。

ライセンスをアンインストール

×

製品情報

名前

WorkWithPlus for Audit

現在のライセンス数

1

閉じる(C)

キャンセル(N)

ヘルプ(H)

アンインストール情報

アンインストールするライセンス数

1

✖

'C:\Program Files (x86)\GeneXus\GeneXus17JP\Keys17.gxa' ファイルがアンインストールコードで生成されました。

サーバーに接続中のエラー: HTTPエラーが発生しました:404Not Found

URL= http://vpn.dvelopsoftware.com/PlusLicenseManager/awsdvelopjp.aspx

アンインストールコードのファイルをお買い求めの販売店に送信してください。